

選手に届け！子どもたちの笑顔の絵で国内外のアスリートを応援！

全国の首長有志や文化人などで作る「みんなの応援村」では、新型コロナウイルス感染症で厳しい社会状況のなか、全国の子どもたちと国内外のアスリートを応援する「選手応援村」を立ち上げ、活動を始めました。このプロジェクトでは子どもたちに「私のえがお」、「選手のえがお」をテーマに絵を描いてもらい、各地の公共施設等で展示したり、SNS で世界に向けて発信したりすることで、選手の皆さんに応援の気持ちを届け、スポーツを盛り上げます。

古賀市はみんなの応援村のプロジェクト活動に賛同し参加しており、選手応援村の座長を古賀市長の田辺が務めています。現在、市内の小中学生たちが笑顔の作品を制作中です！！

■目的と背景

全国の子どもたちが描いた絵を活用し、スポーツを盛り上げ、選手を応援するきっかけにつなげていきます。新型コロナウイルス感染症の影響により、子どもたちがアスリートへの直接の応援や観戦が制限されるなかでスポーツを盛り上げ選手を応援することを目的としています。昨年夏に、みんなの応援村として実施した「77億人えがおプロジェクト」の第2弾に位置づけ、引き続き取り組んでいます。

■実施内容

先行して6月から市内の8小学校6年生全員（約600人）に「応援している私のえがお」をテーマに図画工作の授業で、また、市内の3中学校の美術部の生徒（約110人）には「選手のえがお」をテーマに絵を描く取組を行っています。

続けて、夏休み期間中には市内の全小中学生を対象に、スポーツを観戦し「感動したシーン」や「選手のえがお」の絵を募集し、さらにスポーツを盛り上げていく予定です。

■作品掲示など

みんなの応援村や古賀市の SNS での発信をはじめ、市内の公共施設や民間の集客施設、駅などへ展示します。

■主催 みんなの応援村実行委員会

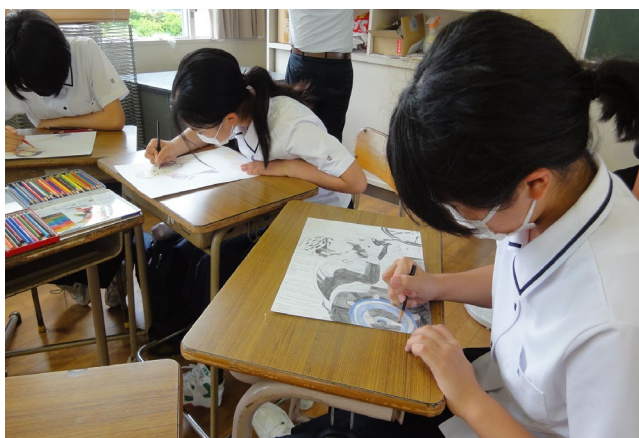
■後援団体

- ・公益財団法人日本オリンピック委員会
- ・公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会

■「みんなの応援村」とは

全国の約40人の首長や松任谷正隆さん、小山薫堂さん、中井美穂さん、皆川賢太郎さんといった文化人などが実行委員となり、新型コロナウイルスや災害などで厳しい状況のなか、各地で頑張っている人を応援し、日本を元気にするプロジェクトを展開しています。福岡県の首長では、古賀市長の田辺の他、高島宗一郎・福岡市長、大久保勉・久留米市長、井上幸春・みやこ町長が参加しています。昨年実施した「77億人えがおプロジェクト」で集まった子どもたちの絵は、NHK紅白歌合戦で松任谷由実さんが歌うステージの背景にもなっています。

公式HPはこちら → <https://ouen-mura.homes/>



【問い合わせ先】

古賀市役所 経営戦略課経営戦略係 担当：担当 丸井・玖島
電話：092-942-1113